

2012年11月19日（月）第2回青年アカデミー メンバー交流会

◆ グループディスカッション内容まとめ

A グループ

テーマ【ライオンズクラブに入会した動機とライオンズクラブに求めるもの】

- メンバー ▶
- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| L 松野下 幸次（1R-1Z 東京有楽町） | L 渡邊 滋（7R-2Z 東京志村） |
| L 田村 雄（1R-3Z 東京ワンハンドレッド） | L 阿部 鉄平（10R-2Z 東京世田谷） |
| L 中西 浩太（3R-3Z 東京ヒルズ） | |

動機

- 仕事上のつながりから。
- 例会場が近かったから。
- 母親がメンバーであったため。
- 社交の場だと思っていた。
- 初めて例会に行ったら即入会式だった。
- ビジネスにつながると思った。
- 地域社会への貢献のため。

求めるもの

- 東京ヒルズ LC は全員未経験者のためメンバー内の交流をもっと行いたい。
- 30～40名の例会参加を実現したい。
- 楽しく…楽しく…。
- 例会で乾杯ビールがほしい。1杯目からウイスキーはきつい（笑）

B グループ

テーマ【自分が理想とするライオンズ活動とは】

- メンバー ▶
- | | |
|---------------------------|----------------------|
| L 富永 龍太（1R-3Z 東京ワンハンドレッド） | L 齊藤 道之（7R-2Z 東京志村） |
| L 荒木 浩明（2R-2Z 東京平成） | L 岩瀬 潔（10R-2Z 東京世田谷） |
| L 橋本 隆夫（3R-3Z 東京ヒルズ） | |

- クラブの枠を超えて活動をしたい。→ メンバー交流会の場を活かす。
- ライオンズならではの活動をしたい。→ 他のボランティア団体との差別化をはかる。
- 自分のビジネスと結びつけて良いのか？ → 混同してよいのか？
- 家庭と両立させるにはどうしたら良いのか？
- 新しいクラブは自由に活動することができるが、古いクラブは先輩方との摩擦に悩まされる。これは本来のライオンズ活動の姿ではないと考える。それらのストレス発散の場として、このメンバー交流会の場を活用していきたい。

C グループ

テーマ【ライオンズクラブに入会した動機とライオンズクラブに求めるもの】

- メンバー ▶
- | | |
|----------------------------|------------------------|
| L 西澤 隆廣 (1R-3Z 東京ワンハンドレッド) | L 清水 昭洋 (9R-1Z 東京荏原) |
| L 小幡 嘉信 (2R-2Z 東京平成) | L 進藤 義夫 (10R-2Z 東京世田谷) |
| L 林 敦美 (3R-3Z 東京ヒルズ) | L 浦井 麻美 (11R-1Z 東京スバル) |
| L 田中 秀樹 (7R-2Z 東京志村) | |

一通り自己紹介の後、ライオンズクラブに入会した経緯を話す。

- 他団体と同様に会員が減少傾向にある。
- 若い人材を獲得するにはビジネスを絡めないと難しい。
例会でのスピーチ・他クラブゲスト → 講習会などに発展
- 定型化したアクティビティーが増えて負担感がある。
- ライオンズが何をやっているか、まだ実感がわからない。
- 多数アクティビティーを行っているクラブからの報告。
 - ・新規アクティビティーを構築したこと。
 - ・アクティビティーでの感動の体験談。

楽しくなければ奉仕ではない。無理のない範囲で奉仕を楽しもう。

D グループ

テーマ【ライオンズクラブに入会した動機とライオンズクラブに求めるもの】

- メンバー ▶
- | | |
|----------------------------|------------------------|
| L 湯浅 克雄 (1R-3Z 東京ワンハンドレッド) | L 鈴木 正治 (9R-1Z 東京荏原) |
| L 石原 祐治 (5R-1Z 東京葛飾東) | L 須藤 陽子 (10R-2Z 東京世田谷) |
| L 志村 昭 (7R-2Z 東京けやき) | L 阪田 智之 (11R-1Z 東京スバル) |

動機

- お客様や信頼できる方の紹介で入会した。

求めるもの

- 仕事を離れて奉仕活動をしていきたい。
- 年齢を超えたお付き合いができるのが素晴らしい。
- 年末にクラブでチャリティーコンサートを開いているが、ボランティアできる事に喜びを感じている。
- 感動をすること、信念を持つことが大切ではないだろうか。
- 信念を持って活動をすることが会員増強につながると思う。
- ボランティア活動をすることで自分自身の心がキレイになり、会社の人や周囲の人に良い影響を与えることができる。

E グループ

テーマ【ライオンズクラブに入会した動機とライオンズクラブに求めるもの】

- メンバー ▶
- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| L 剣持 一雄 (2R-2Z 東京平成) | L 小森 俊哉 (9R-1Z 東京荏原) |
| L 熊野 浩介 (3R-1Z 東京浜松町) | L 田中 文太郎 (10R-2Z 東京世田谷) |
| L 野中 延康 (5R-1Z 東京葛飾東) | L 里永 尚太郎 (11R-1Z 東京スバル) |
| L 小野 毅 (8R-1Z 東京サンシャイン) | |

- 成功者である叔父に感化され、一人の力で奉仕するより多くの力をえられると思い入会。
- 野球大会などで「ライオンズ杯」があり身近に感じていたので抵抗なく先輩の勧めを聞いた。
- 自分の関係するスポーツ等にドネーションを受け、ますますライオンズライフが楽しくなった。
- ネットワークを利用し、多くの方に出会うことができる。
- 母親がライオンズメンバーだったため入会した。
- アクティビティーを通じて、クラブメンバー全員が感動できるようにしたい。
- 他の集いを通じてライオンズの話聞き、とりあえずやってみようと思った。
- 仕事のつながりを求めて委員会に参加したが、それ以上の人脈を得ることができた。
- サークル的なノリでアクティビティーを実行。より多く集まれるようになった。
- 学生を参加させ会員増強にも役立てている。「楽しい会」ということを内にも外にも発信する。
- 月一回は酒抜きランチミーティングを行う。
- クラブの垣根を超えて交流したい。

F グループ

テーマ【ライオンズクラブに入会した動機とライオンズクラブに求めるもの】

- メンバー ▶
- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| L 十河 健司 (2R-2Z 東京平成) | L 西山 和範 (10R-2Z 東京世田谷) |
| L 栗山 匡司 (3R-1Z 東京浜松町) | L 佐々木 まどか (10R-2Z 東京世田谷) |
| L 鹿野祥誠 (5R-2Z 東京フロンティア) | L 泊 正重 (11R-1Z 東京スバル) |
| L 有山 賢 (8R-2Z 東京巣鴨) | |

動機

- すでにメンバーである仕事上つながりのある人物に誘われた場合が多い。
そのクラブで「親友」ができるライオンズを続けるケースが多い。

入会を振り返り

- 入会時の思いと現時点の思いを見つめ直し、今後に生かしたい。
- ライオンズに何を求めたか、これから何を求めていくのかを考えたい。
- 出来る時に出来ることをやればよい。
- ライオンズが入会時と何も変わっていない。人間関係がややこしい。

求めるもの

- 昔から続く体制も、キャビネットが何をやっているかもわからない。
- ガバナー選挙の度に失望する。
- 本来すべきこと以外に時間を費やしていないか？

会費

- 昔ながらの会費設定では若い人材が入らないし続けられない。
- 高額会費のクラブは毎年繰越金があるので、安価にできるのではないか？
- 仕事で頻繁に飲む仲間が多いのに、わざわざ会費での飲食は不要では？

継続

- 若い世代は仕事が「現役」で、例会やアクティビティーに参加しづらく辞めてしまう。
- 会費を支払うのが困難になった時に会員同志が助け合う制度がなく退会。
- ビジネスを通して、互いの向上も必要ではないだろうか。
- 一人ではできない奉仕活動が実現できるのは良いと思う。

G グループ

テーマ【ライオンズクラブに入会した動機とライオンズクラブに求めるもの】

- メンバー ▶
- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| L 野下 浩世 (2R-2Z 東京銀座) | L 手塚 利行 (10R-2Z 東京世田谷) |
| L 高島 誠 (2R-2Z 東京平成) | L 八木橋 重仁 (10R-3Z 東京シティ) |
| L 小林 晋一郎 (3R-1Z 東京浜松町) | L 松浦 卓司 (11R-1Z 東京スバル) |
| L 森本康二郎 (5R-2Z 東京フロンティア) | |

動機

- 仕事の絡みやスポンサーなどから引っ張られた。
- 奉仕活動・アクティビティーをやりたかったから。
- 交流会をきっかけとして転籍に至った。

求めるもの

- クラブや地域の垣根を超えて各自治体などとも協業し、アクティビティーを充実させるべき。
- アクティビティーを行っても積極的に参加するメンバーとそうでないメンバーの温度差があるので、例えば自クラブのアクティビティーなどを公開し、クラブ間の垣根を超えて参加できるようにしたい。

H グループ

テーマ【ライオンズクラブに入会した動機とライオンズクラブに求めるもの】

- メンバー ▶
- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| L 柴田 耕二 (2R-2Z 東京銀座) | L 野坂 貢一 (3R-1Z 東京浜松町) |
| L 中所 昌司 (2R-2Z 東京平成) | L 添田 聡氏 / 野坂同伴 (メンバー候補) |
| 山本 歓氏 / 中所同伴 (メンバー候補) | L 吉原 稔貴 (333-C 地区 市川) |

動機

- 色々な人と知り合え、幅広く交流できる。社会奉仕という柱がある。
- 奉仕活動が行える。奉仕は様々。青少年育成・社会福祉など。

求めるもの

- クラブによって取り組みが全く異なる (例会でお金を出すだけなど)
- お金を集めて終わりではなく、自分たちで積極的に活動していきたい。
- やりたいことが見つかるまで多くの人と交流し、その上でそれが見つかったら面白い。

I グループ

テーマ【自分が理想とするライオンズ活動とは】

- メンバー ▶
- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| L 芳賀 英紀 (2R-2Z 東京平成) | L 雪乃 さずき (11R-1Z 東京スバル) |
| L 石塚 哲央 (4R-2Z 東京城東) | L 橋 雅人 (13R-2Z 東京田無) |
| L 高橋 昌幸 (11R-1Z 東京新都心) | L 安見 一美 (333-C 地区 千葉花見川) |
| L 柿澤 美貴 (11R-1Z 東京 21 世紀) | |

「ライオンズクラブは変わらなければいけない時期」だと各自が痛感している。

■ 挙げられるポイント

- ◎クラブ内での古株と新メンバーや若手との融合。
- ◎クラブを盛り上げ、会員増強のためにも「楽しい例会」「楽しいアクティビティー」を。

- ※ 新メンバーはわからないことが多いが、教えてもらう前に「新しく会員になった人にはわからないでしょうけれども」と言われてしまう傾向が大きいことがわかった。これは是非改善していくべき問題点であると考えられる。
- ※ 体験型のアクティビティーがたくさんあると他ではできない経験ができてライオンズクラブにいる魅力が湧くのではないか。
- ※ ライオンズのシステムなど、色々わかりづらいことが多い。
- ※ 「楽しい」と思う感性が新メンバーと古株との間にギャップがあるように感じる。なるべく「皆楽しい」へ融合していく方向を目指していきたい。

Jグループ

テーマ【ライオンズクラブに入会した動機とライオンズクラブに求めるもの】

- メンバー ▶
- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| L 馬場 章嘉 (2R-2Z 東京平成) | L 竹本 裕美 (11R-3Z 東京新宿東) |
| L 奈良橋 道幸 (4R-2Z 東京城東) | L 利根川 俊一 (13R-2Z 東京田無) |
| L 菅 純一郎 (11R-1Z 東京ひかりえ) | L 実籾 富二男 (333-C 地区 千葉ネオ) |
| L 小野隆子 (11R-2Z 東京しいの木) | |

動機

- 個人的なつながりがきっかけが多いため、メンバー個々の人間関係の広がりが必要。

求めるもの

- クラブ内だけでなく 330 を含めた関東での交流や自由な活動ができるような環境が必要。
- 外への活動で新しいものを取り入れようとすればするほど保守的な自クラブ内でジレンマに陥ってしまう。
- せっかく素晴らしい活動をしているのに、何を行っているのかわかりづらい。
- IT化による情報発信でライオンズの行動をもっと世間にアピールしてほしい。

日 時： 2012年11月19日 (月) 交流会 17:30～19:30
懇親会 19:30～21:00

場 所： 主婦会館プラザエフ 交流会 / B2F クラリテ 懇親会 / 9F スズラン

以 上

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区 2012 - 2013 青年アカデミー委員会